

青

東方青帖

ろくユノせつ



——さよめ

お上がりなさいな

.....

遠慮しなくて  
いいのよ

今日からここが  
あなたの家  
なんだから



失礼いたします…

固いわねえ



…恐れながら

八雲さま

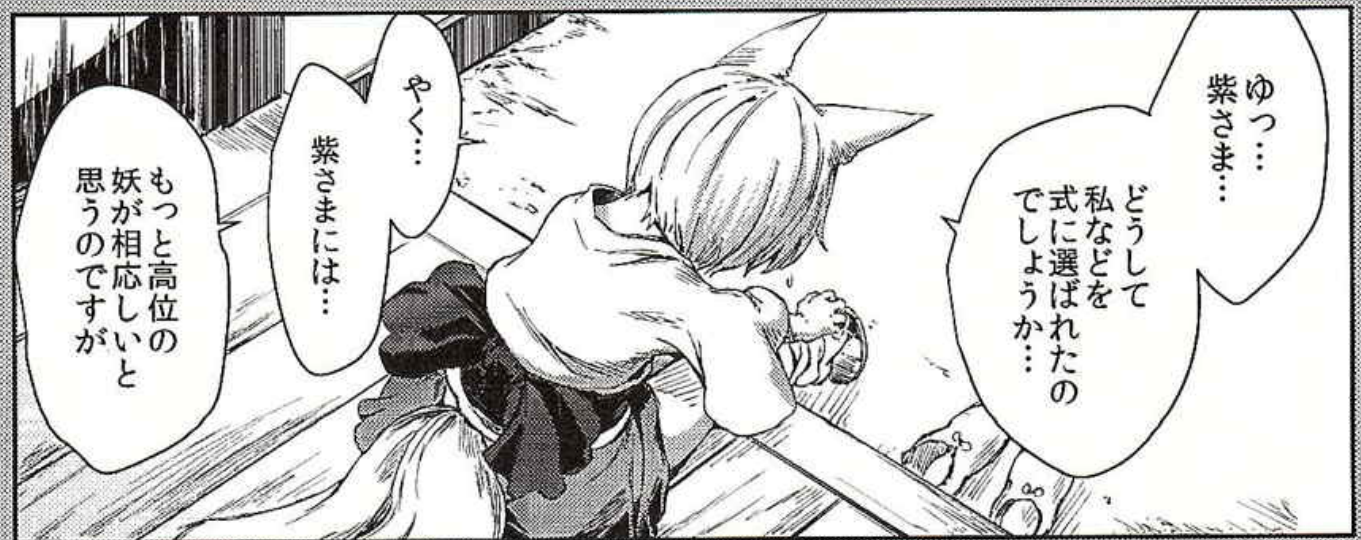
「紫」よ



ね？

藍

…はい…っ



ゆっ…  
紫さま…

どうして  
私などを  
式に選ばれたの  
でしょうか…

やく…

紫さまには…

もつと高位の  
妖が相応しいと  
思うのですが



私が…  
大妖怪に…?

ええ

大妖怪に  
なれる素養よ

いずれは  
八雲の名を  
継げるような



素養がありそう  
だったからよ



…?  
なんででしょう?

…



もうひとつ…



…それと

理由は

東方青帖

ろくユノせつ





ど…  
どうだろう

やはり帽子は  
あった方が…

えー

無い方が  
可愛いよ！

そっ  
そうか

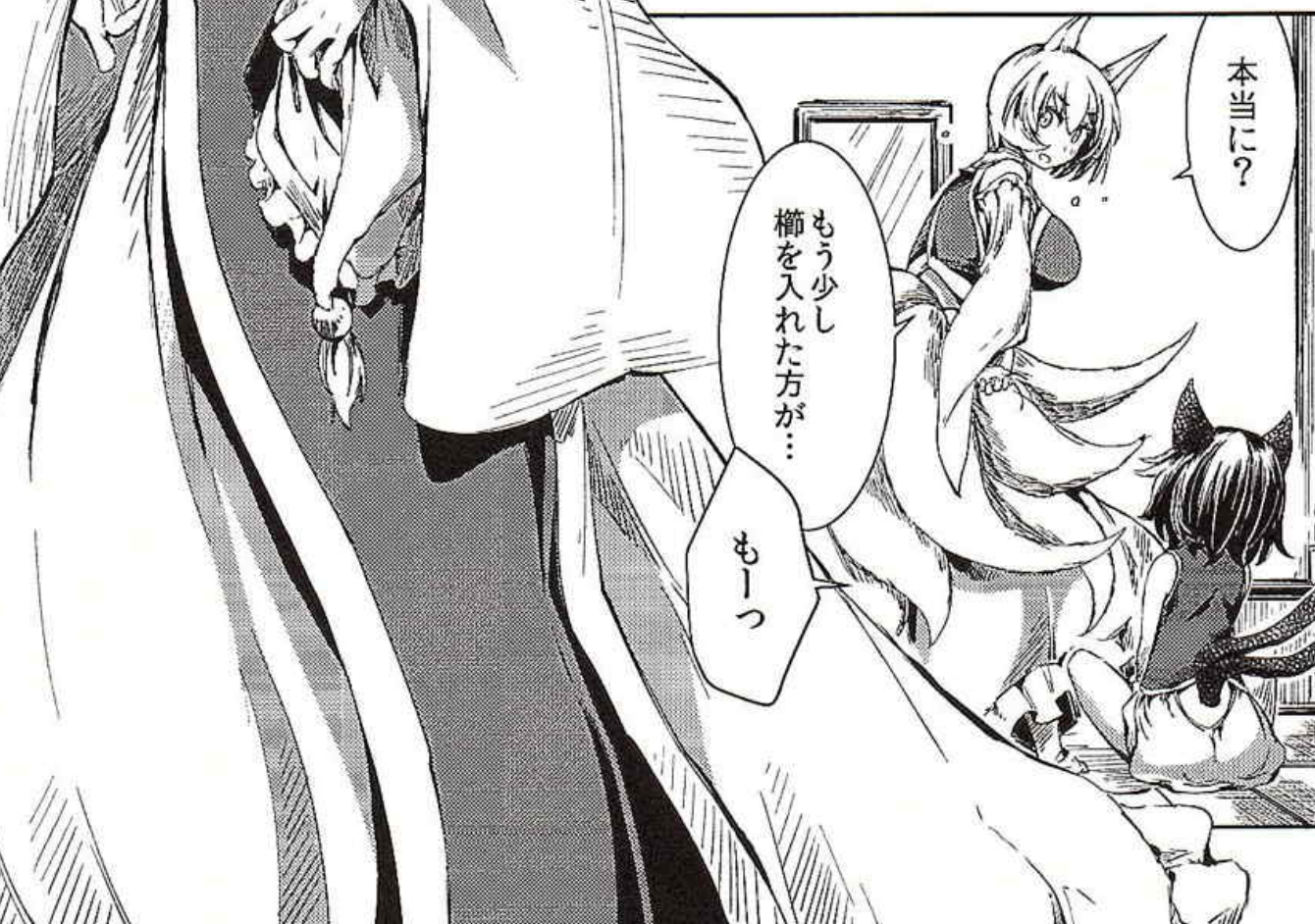
そうだな…



尻尾は  
だいじょうぶかな

だいじょうぶ！

ツヤツヤ  
フサフサだよ！



本当に？

もう少し  
櫛を入れた方が…

もーっ



気持ち...

でしょ!

気持ちの方

頑張らなきゃ  
いけないのは



藍さまはね

見た目は  
完璧なのー

もー



藍さま  
星ちゃんの  
前だと

全然ダメ  
じゃない

ダメとは  
なんだ!

照れてる  
だけで

喋れて  
ないでしょー



!!

こんにちわー!



そんな  
ことはない

二人きりの時は  
それなりに...

えー?  
本当かなあ?



橙!

ナズーっ!!

星さん...っ

会いたかったよー

あきう?

私もだよ

藍さん

こんにちはわ

ナズーっ!!

星さん...っ







私も

会いたかったです

藍さん

きゅん

.....  
!!



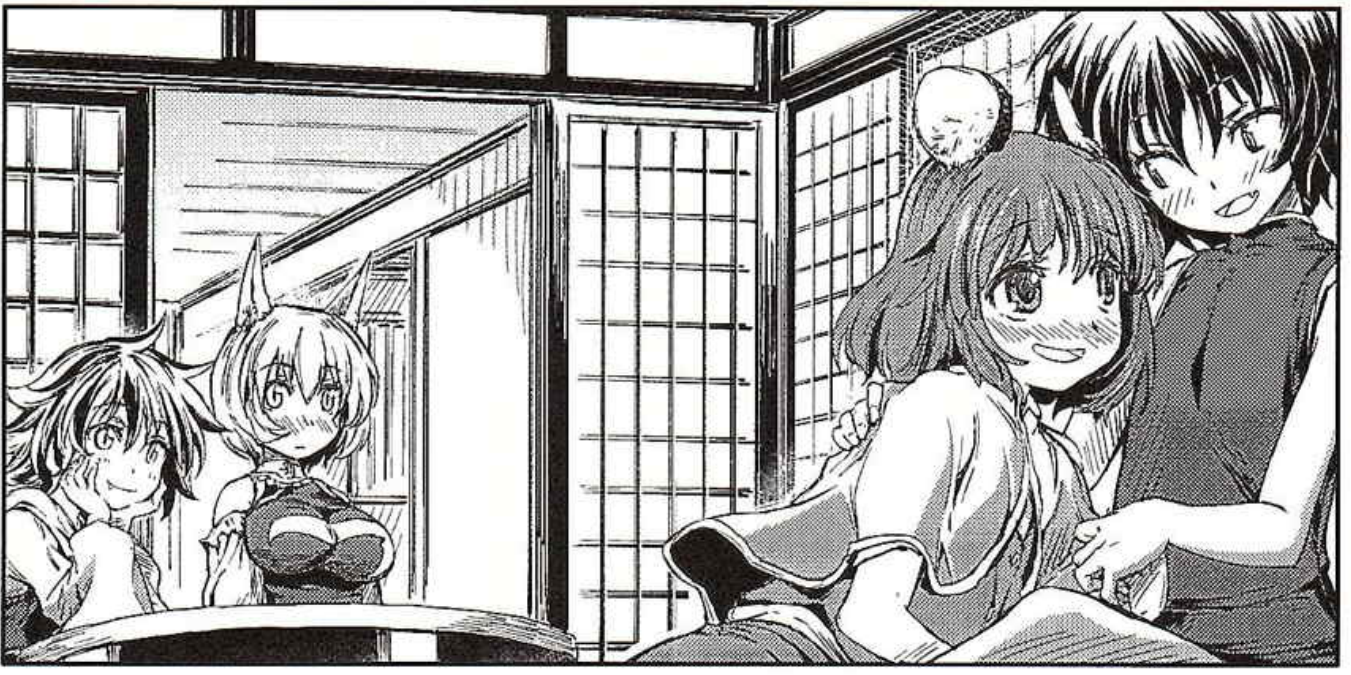
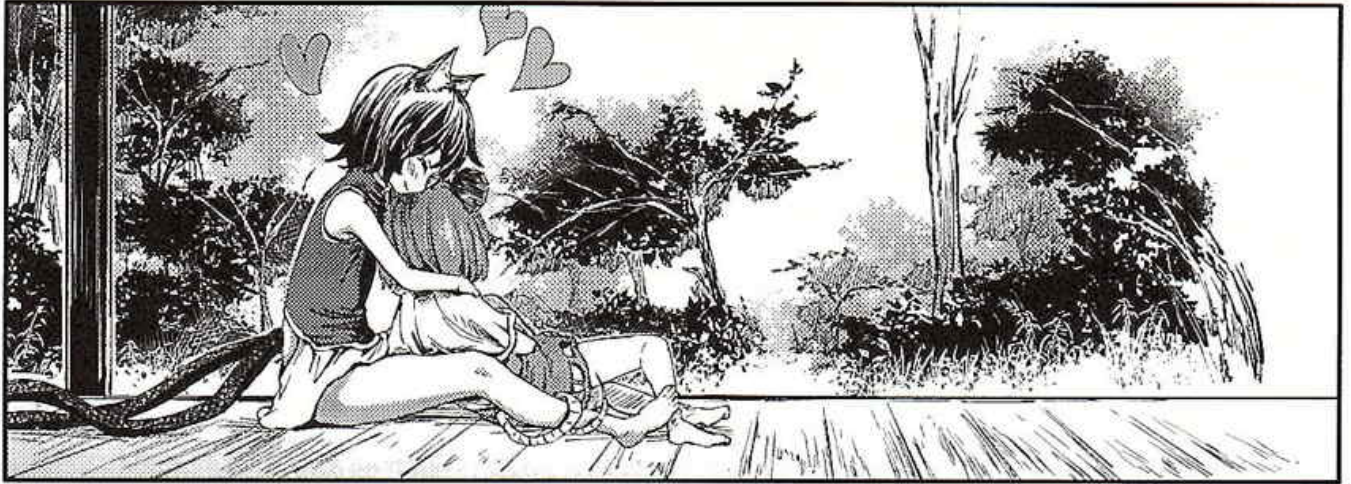
えへえ

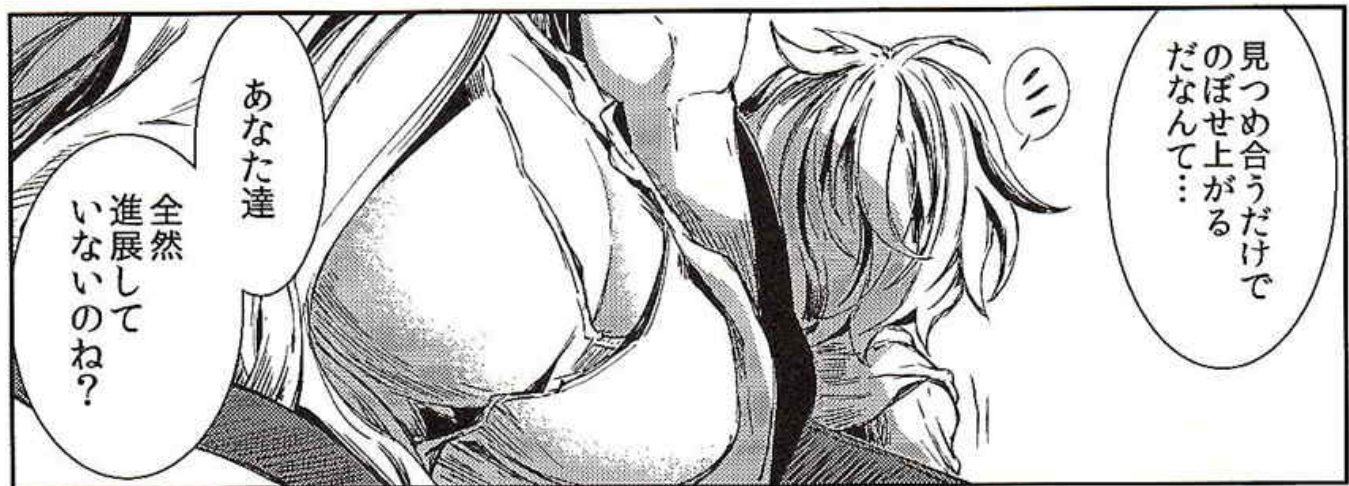
藍さん  
今日も  
綺麗です

や...

あ...

.....  
ありがとうございます









あらあ

迷った時点で  
負けじゃないの？

私は！

藍さん一筋ですし！！

.....

は.....

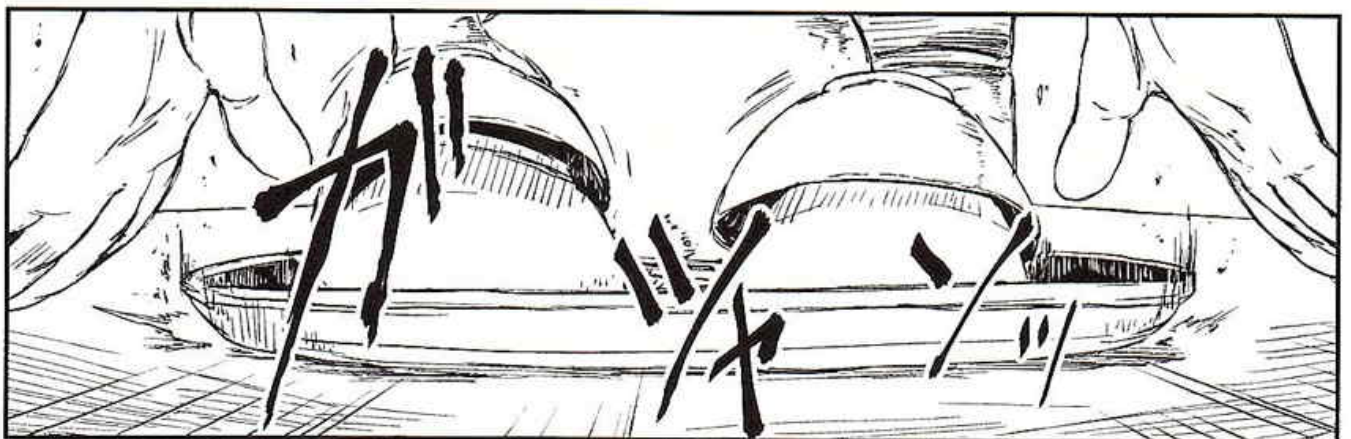


迷ってませんし！

ちょっと...

驚いた  
だけですし！

本当かしらあ？



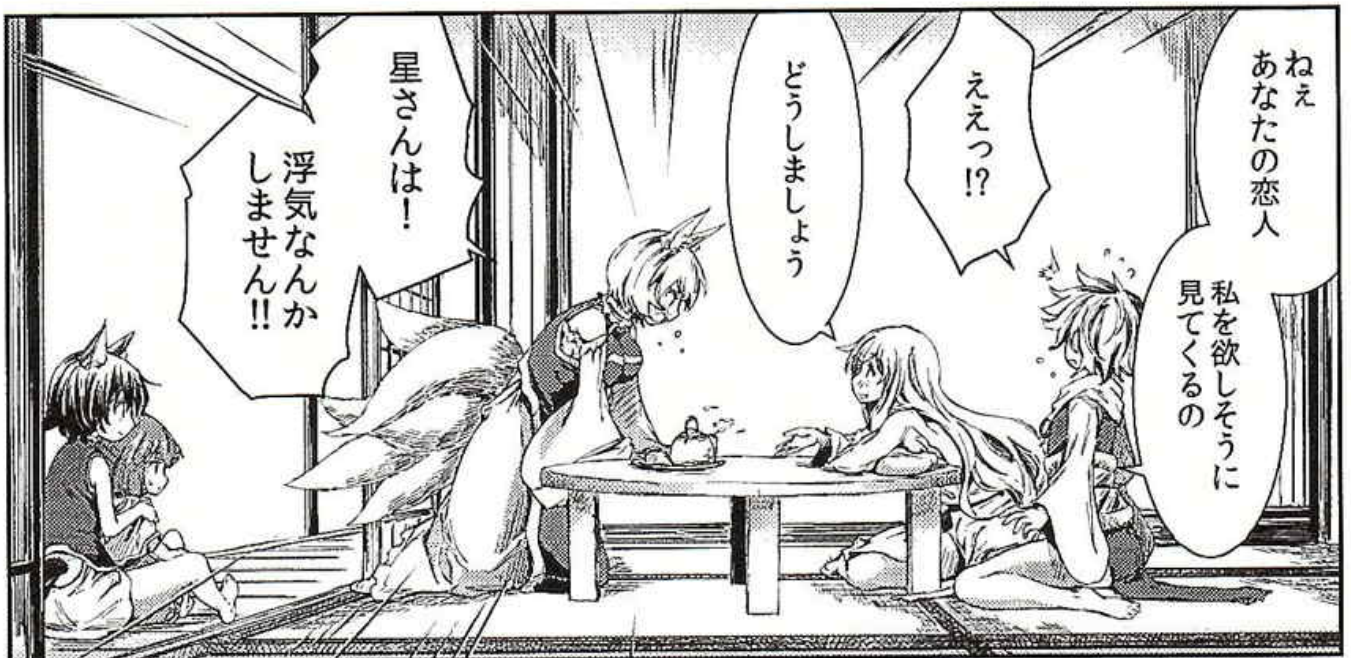


藍

おはよう

紫さつき……!

おはよう  
ごきげんます……



ねえ  
あなたの恋人  
私を欲しそうに  
見てくるの

ええっ!?

どうしましょう

星さんは!

浮気なんか  
しません!!







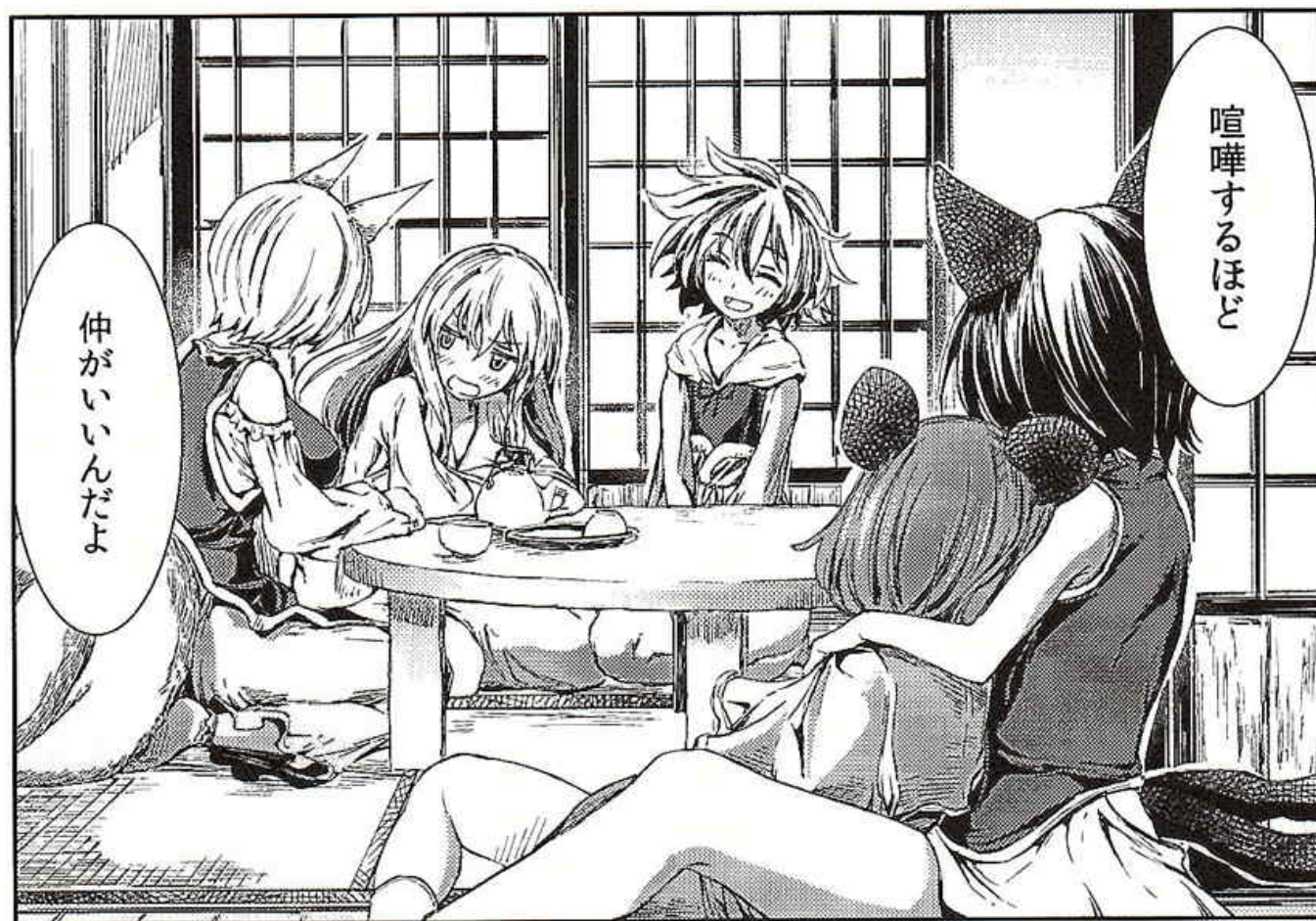




橙の家って…

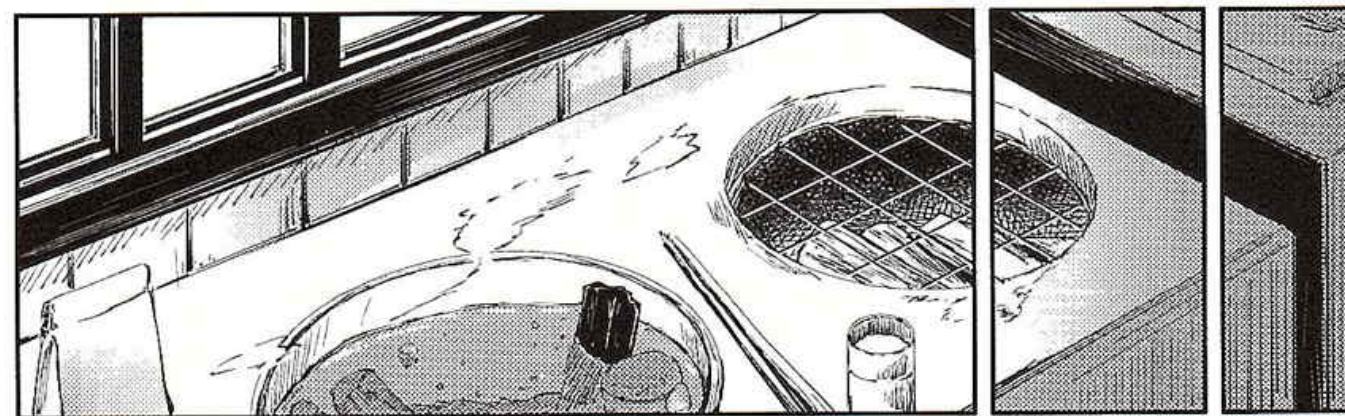
仲悪いのかい？

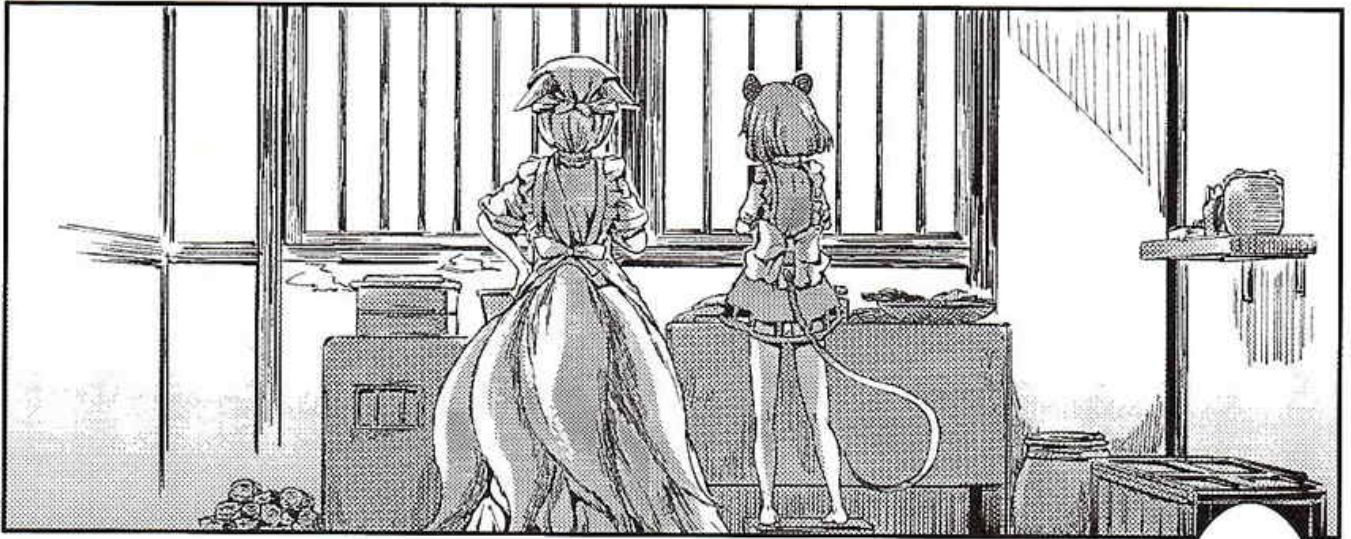
そんなこと  
ないよ



喧嘩するほど

仲がいいんだよ





楽しいわよ

紫さま  
楽しそー



ふふっ

藍って

あんな顔して  
怒るのねえ

クス

クス

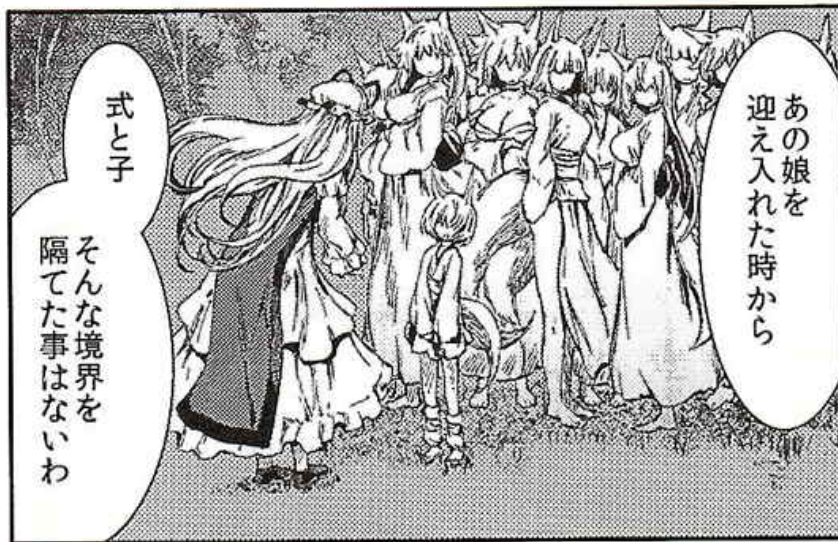


藍は

いん子  
過ぎるもの

こういう事でも  
ないと

親子の実感  
持てないのよ



あの娘を  
迎え入れた時から

式と子

そんな境界を  
隔てた事はないわ



あの子が  
勝手に…

境界

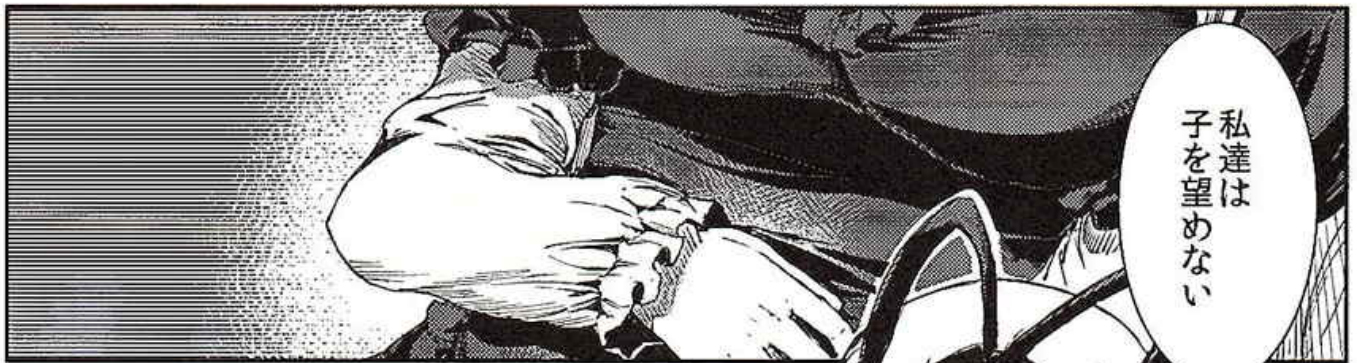
引いちゃってる  
のよね…



ですよね!

おふたりは

親子ですよね!





だつたら  
橙が

藍さまの  
代わりに  
甘えてあげるー

あらあら



.....



…藍さんは

お義母さまの事

大事に  
思ってますよ



きつと

主ではなく  
親として



藍さんの  
本名は  
八雲藍

もう八雲の名を  
継いでいるん  
ですよ

ええ  
そうよ



お義母さまに  
認めてほしくての  
振る舞いだと

私は  
思います



親子として  
気を許さない事

それ自体が

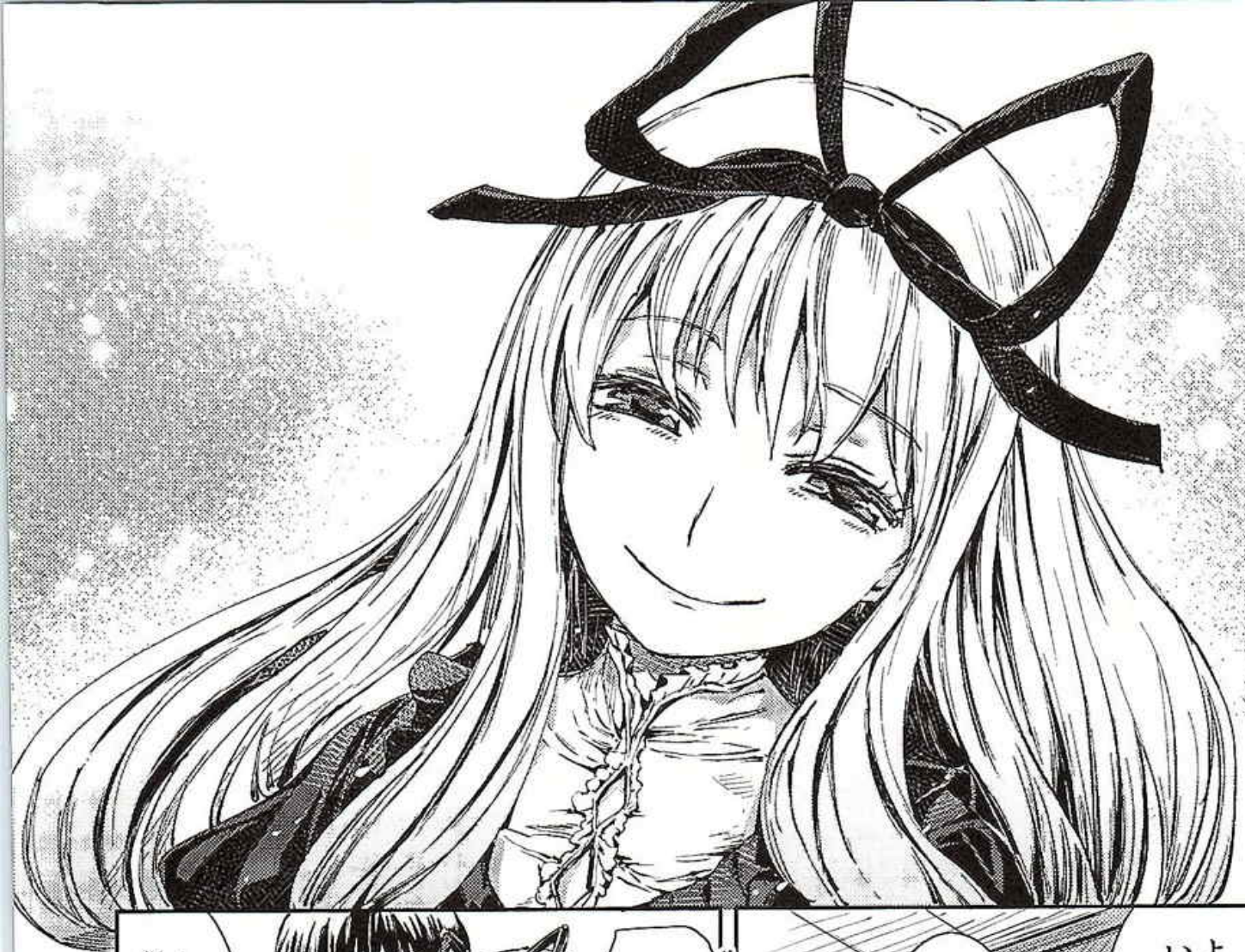
気を張ってるんだと  
思います



だから  
藍さんは

八雲の名に  
恥じないよう





よく見て  
いるのね

あの娘のこと

ハイ!  
だって  
本気ですし!

…いい相手と  
縁を結んだわね



寅丸星

?





面倒なところも  
含めて!

愛しちゃって  
ますから!

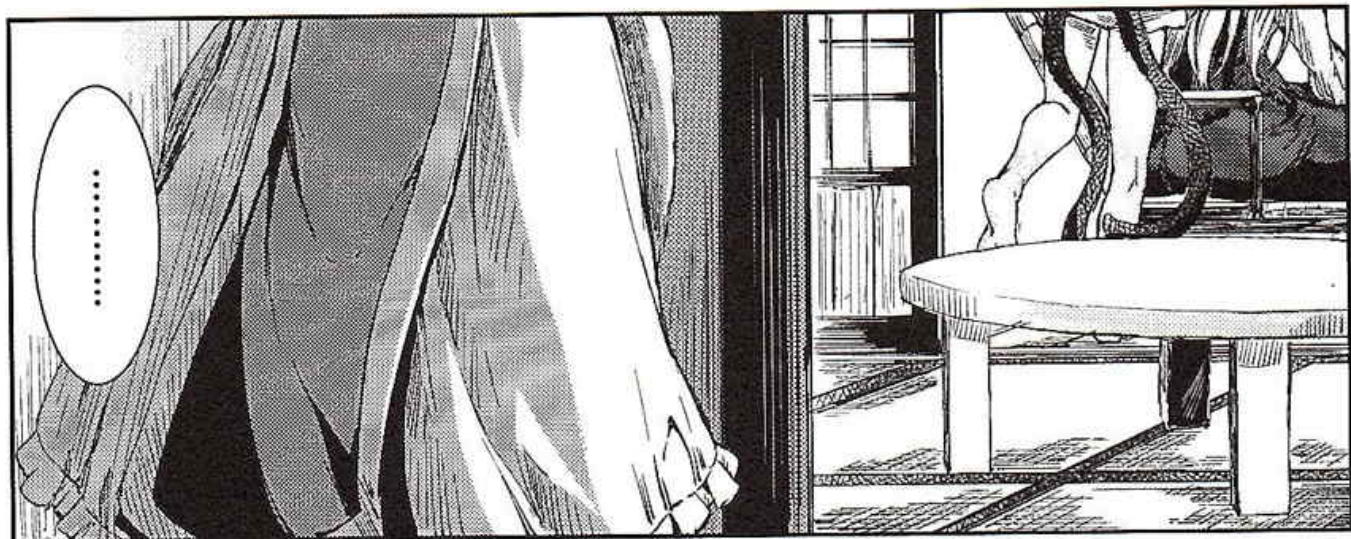
任せて下さい!!



面倒な娘だけれど

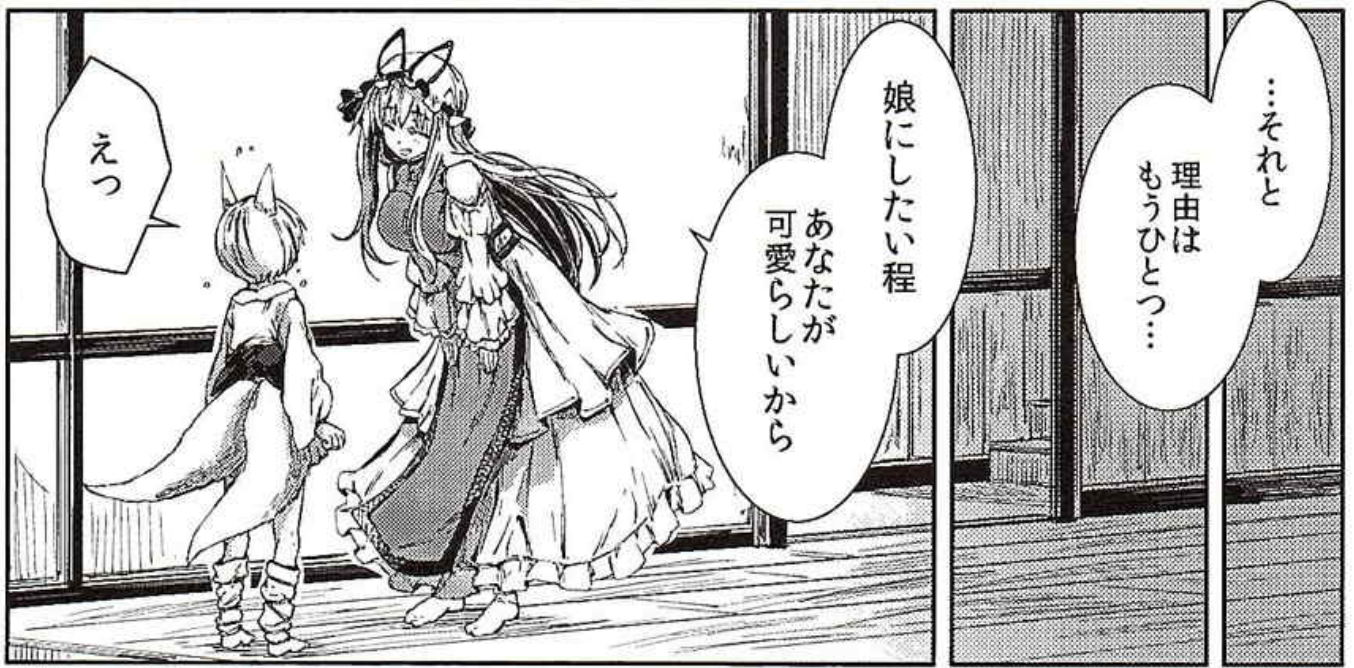
私の大事な  
ひとり娘

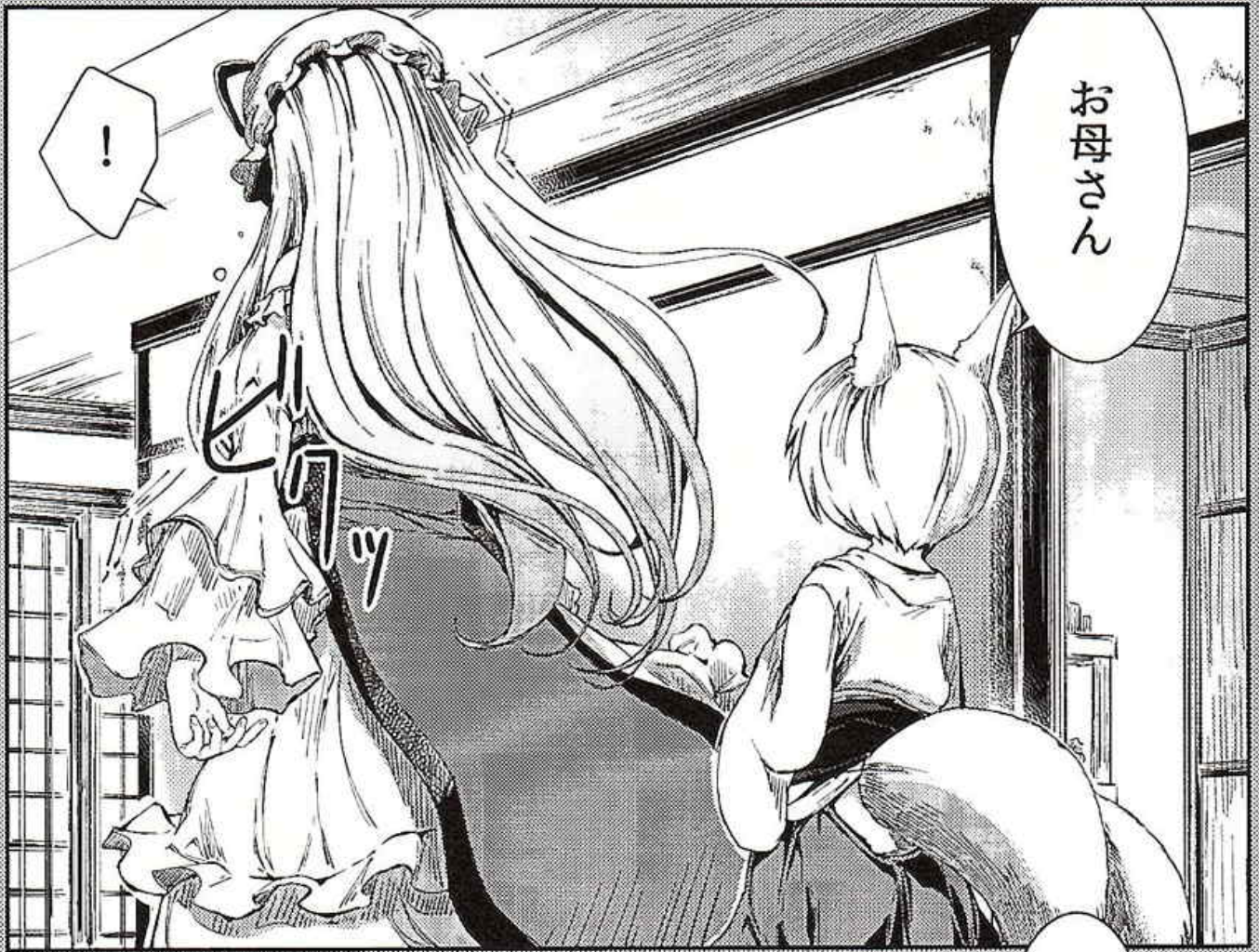
幸せになさいよ



.....







お母さん

!



……と

お呼び

しつこい……

……!



あの日

あの涙を見た時



式として

お役に  
立ちたいと

強く思った



しかし  
それ以上に

私を選んで  
くださったの  
だから



この方の子として

傍にいたいと  
思った

だから

「紫さま」

昼餉の支度が  
整いました

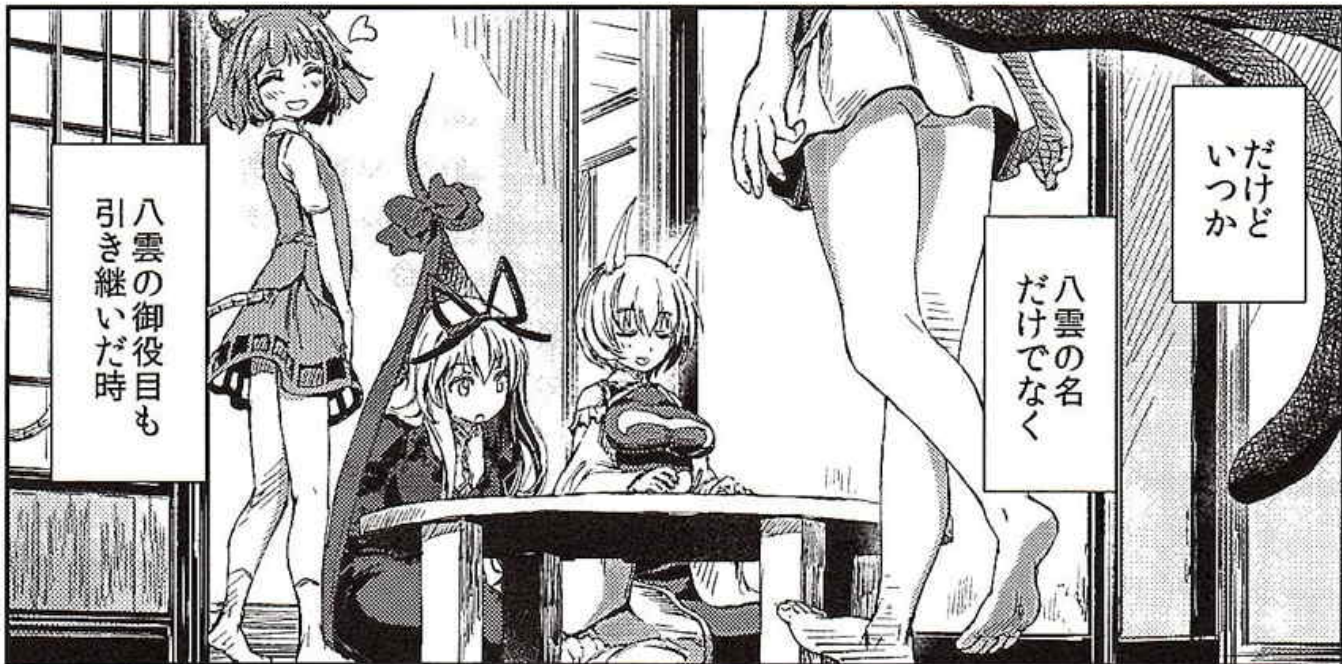


はい

今はまだ  
式として

紫さまのお側に  
いられば  
それでいい





八雲の御役目も  
引き継いだ時

だだけど  
いつか

八雲の名  
だけでなく



子として

思い切り  
甘えるんだと  
決めている

式ではなく

八雲の後継として  
一人の妖になった  
その時は



だから  
それまで

私が一人前に  
なれる  
その時まで

どうか  
あと少し

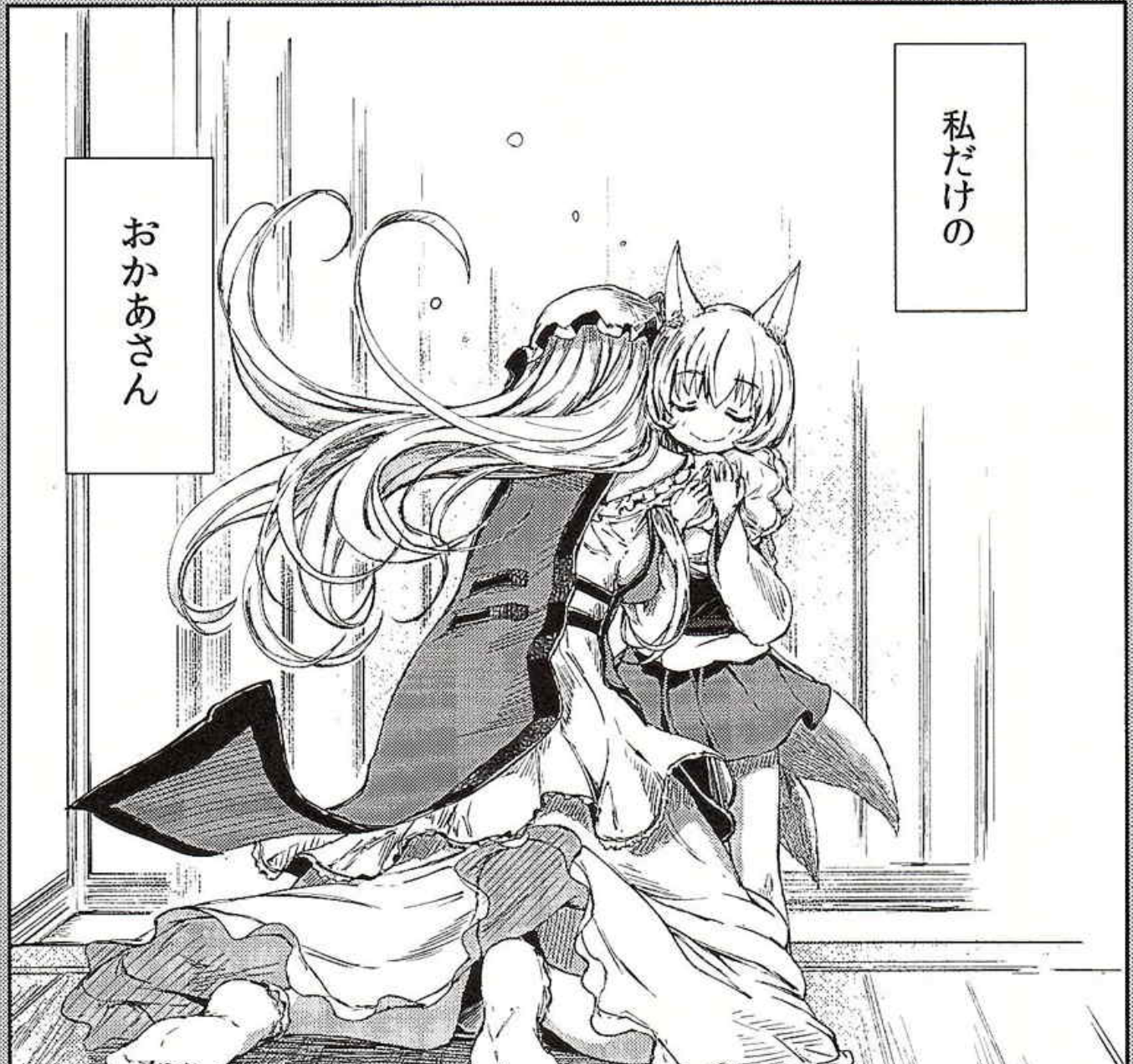
待っていて  
ください





大好きな

大好きな



私だけの

おかあさん



お待ちを!

モウッ!

まっ!?

それで  
孫はまだなの?



奥付

東方青帖・ろくユノせつ

2015年3月29日初版発行

著:ヨハネ

youka.itsumaden@gmail.com  
<http://sangensei.blog.shinobi.jp/>

原作:東方プロジェクト

印刷:丸正インキ

